

GCOE特別講演会報告書

開催日時： 11月17日（火）午後1時～2時30分

開催場所： 理学部6号館2階202号室

講師： メルク製薬(米国) 安田 修祥 博士

演題： Preparation of an Enfumafungin Derivative

安田博士は、米国の製薬企業の中で最も有名なメルク製薬において、長年にわたり創薬のプロセス研究に携わってきた。また、そこでの研究成果の一部は、学術雑誌に数多く発表しており、学術的にも非常に興味深い研究を展開されている。今回の講演では、有効な薬として期待されている Enfumafungin およびその誘導体のプロセス合成開発についてわかりやすく説明していただいた。プロセス合成においては、目的のものをただ単に作るというだけではなく、実用的なプロセスになりうるかを常に考慮する必要がある。これらの点について、大学研究とは異なる視点から、プロセス合成における重要なポイントをわかりやすく解説していただいた。また、合成法の設計における独自のアイデアに着いてもお話しいただき、学術的にも非常に興味深い講演内容であった。今回の講演は、将来、企業研究者を目指す大学院生および博士研究員にとって、非常に有益な講演であった。また、学術的研究を行っていく上でも新たな視点で研究に向き合うためへのヒントが数多く含まれており、学術的にも非常に有益な講演であった。

大学院理学研究科化学専攻有機化学系研究室（有機化学・有機合成化学・集合有機分子機能）、大学院工学研究科材料化学専攻有機化学系研究室（機能材料設計学・有機反応化学）、化学研究所物質創製化学研究系研究室（有機元素化学）より、教員、ポスドク約14名、学生約45名の参加があった。

